

## 著書紹介:『情報システム進化論』

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター

砂田 薫

AIの技術進化が急速に進む今日、圧倒的なテクノロジーのパワーの前にして「人間中心のAI社会」という原則はどうすれば守ることができるのでしょうか。そして、情報システムが企業・団体の業務を支援するだけでなく、多様な人びとがよりよく生きることを支援したり、より良い社会をつくっていくことを支援したりするにはどうすればよいのでしょうか。そんな問題意識を持ちながら、わたしは拙著『情報システム論—技術的世界観から脱却し人間を育む未来へ』を執筆しました。

情報システムの進化の最先端をいくのが「人間中心の情報システム」であるというのが本書のメッセージです。はじめに、技術に焦点を当てて情報システムの進化のプロセスをひもとき、次に浦昭二先生が提唱された「人間中心の情報システム」の研究と具体的な事例を紹介しています。本書に欠けている論点や知見はたくさんあるに違いありませんが、本学会の皆様にはぜひ手に取っていただき、忌憚のないご意見やご感想をいただけるとありがたいです。

### ■本の内容

#### 第1章 情報システムの起源と技術進化

人類史の視点で考える社会と汎用技術の進化

#### 第2章 情報システムの機械系と産業の進化

20世紀後半以降の情報技術と産業の歴史分析

#### 第3章 人間中心の情報システム学

進化の最先端をいく「人間中心の情報システム」とは何か

#### 第4章 北欧とエストニアのデジタル進化

国レベルの情報システムの先進事例：デジタルガバメント

#### 第5章 善い目的をもつ社会・組織の情報システム

社会・組織レベルの情報システムの先進事例：災害支援、救急医療、介護、リサイクル、スマート工場、技能伝承、スマート農業、

#### 第6章 人間を育む情報システム

個人レベルの情報システムの先進事例：学校教育、包摂型フィンテック、テレワーク、ダイバーシティ就労支援、メンタルヘルス

#### 第7章 技術的世界観からの解放

人間中心の情報システムの条件、テクノロジー万能主義がもたらす問題を考察し、進化の未来像を展望

■書誌情報

- ・タイトル：情報システム進化論
- ・著者：砂田薫
- ・発行元：行政情報システム研究所
- ・判型・頁数：B6版・252頁
- ・価格：2200円（税込み2420円）
- ・販売：amazon <https://www.amazon.co.jp/dp/B0F2HKC9D6>

■講義動画

情報社会デザイン協会が実施している「Xリーダー基礎検定」のサイトで、本書の一部を紹介する講義動画が公開されています。あわせてご覧いただければ幸いです。

<https://x-leaders.net/learn/detail.html?id=nv3-u5bf4u>